

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームらいふ敬愛 2F カトレア	評価実施年月日	平成20年8月15日
評価実施構成員氏名	池田菜保美 小山一樹 苅部美奈子 平下凡子 水野良子 市川智子 澤井美紀		
記録者氏名	池田 菜保美	記録年月日	平成20年9月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>ホームの行事等にご参加頂き地域との交流を図り、地域に存在するホーム造りを目指しています</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>ホーム内に掲示し、ミーティング時には職員全員で読み上げる事で再確認出来る様な場を作り、理念実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議やホームの行事を通して理念を理解して頂いている</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>町内会の行事に参加したり、近所の方も自由に出入りして気軽に立ち寄り頂き花壇作りや談話をしている</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>行事に参加させて頂き、地域の方と交流させて頂いている</p>		
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議の中でホームの立場として役立てる事はないかを問いかけ、情報交換を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	改善項目をミーティング時に伝達し、スタッフに周知して改善出来るよう取り組んでいる		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を定期的に行ない、ホームでの取り組みや利用者様の生活について報告し地域の方にホームを理解して頂くようにしている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	外部の研修会に参加するよう心がけているが、同じスタッフばかりが参加している	○	今後、内部の研修会を実施出来る様な体制を整えていきたい
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している利用者様がいるため制度についての理解を深めている	○	スタッフにより制度についての理解度が違うため今後の課題としていきたい
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注を払い、防止に努めている。	身体拘束や虐待防止について学ぶ機会が少ない	○	勉強会を開いて周知したい
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は必ずご家族に十分な説明を行ない理解を得ている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の意見や要望・不満を聞き、取り入れられる雰囲気作りに努めている		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	必要に応じ電話連絡や来訪時に報告している。状況急変時だけでなく、利用者様の日常の出来事なども話し、普段の生活が見えるような報告が出来る様努めている	○	スタッフ全員がご家族に説明出来る様取組んでいきたい
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議において意見を伺う場を設け、意見箱を設置して利用者様やご家族の意見・苦情をお聞きする機会を作っている。また、ご家族との連絡を密にする事で苦情や意見を言いやすい雰囲気や関係になれるよう努めている	○	苦情対応マニュアルがあるもスタッフ間で周知出来ていない
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング時や申し送りノートで意見交換をして解決するようしたり、運営者・管理者と個別に話をして問題解決出来る様な体制を取れるような関係作りに努めている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	ホームでの行事や利用者様の状況に合わせて勤務調整を行ない、日勤者の人数も毎日同じ人数に出来る様な勤務体制に努めている		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	原則、異動は行わないがスタッフの実務経験などにより数回の異動があった	○	利用者様の負担にならない様検討した上で実行したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>勤務体制が安定せず、研修に参加出来ない状況であるが、徐々に解決に向かって</p>	○	外部研修にも参加出来る様な勤務体制を考慮し今後はホーム独自の人材育成の体制が取れるよう努力したい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>同業者との交流を図り、情報交換を行ないホームに持ち帰ってサービス向上に取り組んでいる</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>全スタッフと話しあう機会が少ないため、管理者を通してスタッフの思いや意見を伝え業務改善や勤務しやすい環境作りが出来る様配慮している</p>	○	運営者とスタッフが直接話し合えるような場を作る
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>勤務変更が多く、勤務状況を把握出来ない面がある為その都度報告している</p>	○	個別面談を実施して職員各々が目標を持ちながら仕事出来るよう働きかけを行いたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>本人が困っている事や求めている事は入居前の面接で聞き取りを行ない受け止められるよう努めている</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前の面接で困っている事や不安な事を受け止め、入所後も不安を取り除けるよう継続的なフォローが出来る様努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面接時に利用者様とご家族の状況に応じてグループホームだけでなく、他施設の紹介をしてご本人に合った対応が出来るようにしている		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に見学や面接を数回行ない、他の利用者様の様子も見て頂きながら納得した上で入居して頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者様と共に家事を行なう中でスタッフが学ばせて頂く事や昔話などをお聞きしたり、利用者様の意外な一面を垣間見たりする事で共感したり励まし合える関係となっている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	電話連絡や来訪時に近況を報告し、日常生活を把握して頂く事で利用者様を支えてもらえるよう協力を得ている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	利用者様の日々の取り組みや出来事などをご家族に話し、ご本人と共通の会話が楽しめるよう配慮している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族に了解を得て自宅を訪問し、以前使用していた物に触れる事で昔を懐かしんで頂いたり、地域の方と交流出来る様支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様の性格に配慮しながら、レクリエーションや共同作業を行う事で自然に関わりを持てるようにしている		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	職員がお見舞いに伺ったり、ご家族と連絡を取る事で継続した関係を築いている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常から入居者様が思いを伝えやすい人間関係作りを目指し、要望があった場合はミーティングで話し合いケアプランに取り入れ継続的なケアが出来る様配慮している		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時、ご家族にセンター方式シートを書いて頂き生活歴や馴染みの暮らしを把握したり、ご本人に直接伺っている		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	朝・夕に申し送りを行ない状況を把握し、日勤者同士もショートミーティングをして情報収集やケアの統一に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人やご家族の意見を取り入れ、ミーティングで協議してケアプランに反映させている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者様の状況に応じミーティングで話し合ったり、ご家族とも話しながら介護計画を作成している		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気になる事や気づいた事は個人記録に記入し、その都度ケアを工夫するとともに継続が必要な場合はケアプランに反映している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	外出など利用者様やご家族に要望を伺い、天候も考慮しながら出来るだけ季節を感じて頂ける様な行事を計画したり、利用者様との何気ない会話の中で要望のあった場所に皆で出掛けたり柔軟な対応を心がけている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	利用者様のご家族による大正琴の演奏会や音楽療法の先生がボランティアに来てくださったりと支援・協力を頂いている		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	運営者・管理者が他のケアマネージャーや管理者と交流を深め情報交換している		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に参加して頂き、助言を頂いたり情報交換を行っている		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族やご本人の希望される医療機関を利用したり、24時間往診対応出来る医師に診て頂き継続した健康管理を行っている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に対して理解と協力を得られる医師が居るので、助言を頂いている		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問受診担当の看護師やホームの管理者が看護師有資格者なので相談している		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	ご家族に状況をお聞きしたり、直接面会に伺ってご本人や病院関係者と話をし情報を得ている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ケアの工夫・見直しを行ったり、専門医の受診を勧め状況に応じたケアを指導して頂いている	○	終末期についての知識が乏しい面もあり、外部研修に参加してスタッフの知識を深め、方針を共有していきたい
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ミーティング等で事業所の立場として利用者様に出来る事を話し合っている	○	終末期についての知識が乏しい面もあり、外部研修に参加してスタッフの知識を深め、方針を共有していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	住み替え時には、ご本人様・ご家族様と十分に話し合いながら情報提供を行ない決定している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者様を見守りながらの申し送りなど、ご本人に直接聞こえてしまう可能性が高くスタッフ間での情報交換の方法を検討していく必要がある	○	連絡ノートや日誌なども活用し、申し送りの短縮化や情報収集の方法を検討する
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様との何気ない会話やご家族に情報を得ながら事前に得意・不得意分野を把握し、各場面において選択を促したり選択出来る様な場面を作っている		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	これまで生活してきた習慣や生活リズムに配慮しながら、時間に束縛されないようご本人に合わせた趣味活動を計画・提案している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご本人の意思を尊重した洋服選びや、女性の方にはレクリエーション活動を兼ねてマニキュアを塗りおしゃれを楽しんで頂いている。外出が困難な方には訪問理美容をご紹介します、好みの整容して頂いている。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	米とぎや配膳・盛り付けを利用者様と一緒に行う事で食に対する興味や関心を持って頂けるよう配慮している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人の好きな飲み物を提供したり、食事の献立作成の段階から利用者様にお聞きして栄養バランスも考慮しながら好きなメニューを取り入れている		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握する事で排泄の失敗やオムツの使用を減らしている		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回の設定はしているがご本人の希望に合わせて対応し、レクリエーションを兼ねながら近所の銭湯に行き気分転換を図っている		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者様に合わせ適度に昼寝をしながら睡眠パターンを崩さないようにしている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者様の生活歴や得意な物を把握し役割を担って頂いている。またご家族にも協力を得て利用者様の自宅を訪問し、気分転換を図っている		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員がお金を管理し、買い物には希望に応じて使えるよう支援している		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	利用者様に合った外出、散歩、外食を支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節に合った外出を計画し支援している(イチゴ狩り、菖蒲園見学、お花見など)		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	必要に応じて対応している		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や知人・友人の訪問が多く、利用者様の日頃の生活を知って頂けるようホール内に写真を掲示している		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていないが、学ぶ機会が少ない	○	勉強会を開いて周知したい
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関には鍵を掛けず、ドアセンサーが鳴った場合には必ず職員が確認するよう全員が取り組んでいる		
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	独歩の方が移動した場合はスタッフ同士の声掛けを徹底しスタッフ全員が常に所在や様子を把握出来る様にしている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤や薬品類は1箇所にとどめて保管し利用者様の行動範囲に置かない様にしているが、利用者様の状況に応じて危険度を把握している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ミーティングにおいて対応策や今後の取り組みについて話し合っている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	事故対応マニュアルを作成したが、スタッフ全員に周知出来ていない	○	勉強会を開いて周知したい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防計画・防災マニュアルを作成し、運営推進会議で地域の方に協力を呼びかけている。また、防火管理者を選任し避難訓練を行っている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族の来訪時に利用者様に起こりうるリスクを話し、それに合った事故防止に努めていることを了承して頂いている。予想外のリスクが起こった場合は、随時ご家族に連絡し報告・相談を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	バイタル測定を毎日行ない、帳票に記入することで日々の変化に気づけるよう対応している。また、異変に気づいた時はご家族に報告している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	おくすり情報・おくすり手帳を保管し、ご本人やご家族が服薬に疑問が生じた場合に説明出来る様支援している。服薬時には名前・日付を声に出して介助する事で誤薬防止に努めている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	起床時に牛乳を飲んで頂いたり、午前中に体操をして運動する機会を作っている	○	外出以外に運動出来る様な機会を増やしていきたい
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	その方の能力に応じたケアを行っている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	介護記録で一人一人の状態を把握し、食事量の少ない方は食事形態を変更して支援している。水分摂取量が少ない方には水分以外にお茶ゼリーやポカリゼリーなど形態を変更して摂取しやすいよう支援している		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し実施している		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	包丁・まな板・ふきん類は毎日消毒し、食事は作りおきしないよう統一している。食材は一括で配達して頂き、すべて国産のものを使用している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	駐車場内にベンチや花壇を設置し明るい雰囲気作りを心がけている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感を味わえるようなディスプレイを取り入れている		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホール内の至る場所にソファやベンチを設置してくつろげるような空間を作っている		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた物や好みの物を置き、その人が居心地やすく出来る様工夫している		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	清掃時には必ず換気を行ない、ホールには温度計を設置して室温維持に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全で自立した生活が送れる様、工夫している		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	利用者様がゆっくりと過ごせる様な関わりを大切に、混乱しないようケアを統一するよう心がけている		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	駐車場内にベンチや花壇を設置し、3時のおやつには外でお茶を楽しんだり歌を歌っている		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>○①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
<p>【特に力を入れている点・アピールしたい点】</p> <p>（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）</p> <p>季節に合った外出やレクリエーションを計画し、利用者様に季節を感じて頂きながら思い思いの暮らしを尊重し実行に移している。利用者様それぞれがホームでの役割を担い、その人らしく生活して頂ける様支援し、ご本人も自信を持って生活されています。また、利用者様が気軽に本音を話せるようなアットホームな雰囲気作りを心がけている</p>	